

# かささぎ通信 第122号

毎月第2金曜日 13:30~15:30

2023年 2月 10日 発行

刈谷市中央図書館研修室 参加自由

森三郎刈谷市民の会「森三郎の作品を読む会」

二〇二三年一月の「森三郎の作品を読む会」では、「猿」(『赤い鳥』  
[1933.3] 所収作と少国民文芸選『かささぎ物語』[1942.8] (帝國教  
育会出版部所収作) の読み比べをしました。その後「梅と水仙」(『う  
ぐわすの謡』[1943.8 拓南社] 所収) を読みました。

「猿」はこれまでに二回読み合わせをしてきました(「かささぎ通信  
26号、101号」参照)。京の都のはずれの百姓家の「鮪(しび)」という  
少年の話です。鮪は近くのお公家様のお嬢さまと一緒に遊びたいと思っ  
ていました。ある雨上がりの日、鮪は小川でたくさんの小鮪を取りま  
ちようど川へ出て来たお嬢さまにその小鮪を差し上げることができま  
した。鮪はそれだけで嬉しくてたまりません。この最後の場面に至る鮪  
の心の揺れを、作者は二つの要素を使って書き表しています。一つ目は  
「猿、猿」とからかわれることへの反応の変化、それに続いて二つ目は  
お嬢さまとの身分の差を意識するようになったことです。

普段はお公家様の家の小舎人に猿とからかわれても「余計なお世話だ  
い」と気にもしなかった鮪が、ある時ふと「本当かな」と、自分の身な  
りを見回します。あちこち継ぎの当たった短い着物、泥にまみれた手足、  
もう三日も母親にすいてもらっていない髪。自分を外から見ることによ  
って、お嬢さまとの立場の違いを意識します。それまでお嬢さまと遊び  
たいと思っていたことを恥ずかしく思います。鮪の変化には、自我の芽  
生えを感じ取ることが出来ます。

家に帰ると、ちようど畑から帰っていた母親の手に甘えて縋りつきま  
すが、「しつっこいよ」と、振り切られてしまいます。鮪は「どうして  
自分はお公家様の家に生れなかったんだろう。なぜおつ母の子になんぞ  
生まれてきたのだろう」と考えます。鮪はその夜、身分の高い人になっ  
た自分に、いつも自分をからかう小舎人たちが、べこんとお辞儀をする夢  
を見ます。目を覚ますと両親はいつものように鮪のご飯を支度して、朝  
早くから畑に出ています。最後の場面でお嬢さまを喜ばすことができた  
鮪は、「猿だって何だっていいよ」と心の中で叫びます。

今回の読み比べで鮪の年齢が改めて話題になりました。自分を客観的  
に見て、過酷な現実世界の事態に気づき始める年齢と言えば、十歳を超  
えた頃だろうという意見と、まだ畑の手伝いには足手まといになるが、  
一人で遊ぶことができるくらいの年齢だから、もう少し低年齢だろうと  
いう意見でした。確かに、鮪は自分の出生に対して疑問を抱いているう  
ちに泣き止みますが、思い出したようにまた幼く泣き出します。まだま  
だ、母親に甘えたい気持ちが強く表現されています。

『赤い鳥』版では鮪の気持を描いた後には作者の説明が多く出ていま  
す。例えば、お嬢さまと遊びたいと思ったことを「はづかしくて、なさ  
けなくて、くやしくて、胸が一ぱいになりました」と、畳みかけるよう  
に言っていますが、少国民文芸選『かささぎ物語』版では、そのような  
説明はいつさいありません。誌面の制約もありますが、年齢の上の読者  
を想定し、鮪の気持の変化は読者の理解にゆだねているのでしょう。

「梅と水仙」は「紅皿、欠皿の昔話に創意を加えた私のロマン」という  
作者自身のあとがきがあります。昔話と同じように、母親が姉娘に沢山  
の仕事を言いつけ、妹娘だけを葵祭に連れて行くという構成です。ちよ  
うど来合わせた左大臣が美しい姉娘を見て、葵祭に連れて行ってくれま  
す。その時に左大臣にもらった蠟梅の小枝はいつまでも枯れませんでした。  
その後、母親の悪たくみで妹娘は左大臣と結婚し、残された姉娘は  
可愛らしい男の子を産みますが、病死してしまいます。蠟梅の木は根元  
に雪の中から水仙が一本可愛らしい花を咲かせている最終場面が題名  
の「梅と水仙」の由来で、男の子が蠟梅の精の子どもであることを暗示  
しているようです。森三郎の作品で、天上の人と人間との間に生まれた  
子どもが花になる「夕顔物語」(初出『赤い鳥』1936.8) と似た終わり方だ  
という感想が出ました。長く読み続けてきたからこそその感想です。

次回予定 二〇二三年三月十日(金) 午後一時半~三時半

①読み比べ「鸚鵡(おつむ)」(『赤い鳥』[1936.10] 所収作と『かささ  
ぎ物語』帝國教育会出版部 [1942.8] 所収作)

②「簪(かんざし)」(『うぐわすの謡』[1943.8] 所収)